

いの食堂始まる

子どもとその家族対象

月1回のランチ食堂



子どもは31人参加

調理スタッフは5チーム

一番気を遣うのは衛生面。保健所の講習も受けました。食中毒等に備える保険にも加入しました。



食事を通して子ども・保護者が交流する場をつくろうと「いの食堂実行委員会」（代表・多久和祥司）が春から準備してきた第1回の食事が、十月二十二日、コミセンで開催されました。参加したのはスタッフを含め59人。

これから毎月1回、土曜日から日曜日のお昼に開催する予定です。利用料金は高校生までは1000円、大人は3000円。このほかに、市から1回5千円の助成金をもらって運営します。できるだけ伊野産の食材を準備したいので、皆さまのご寄付をお願いします。

この日のメニューはスタミナ丼、汁、ジャーマンポテト、焼きカボチャ、柿。調理スタッフは岩成尚子さんら5人。

このほかに多久和奈穂子さん、多久和喜代美さん、石倉勇樹さん、岩成友介さんら4チームが年に1〜3回調理を担当してくれました。

―保護者の感想―

○休日の昼食、とても助かりました。その分、家族との時間が増えました。献立

の参考にもなりました。

○子どもはふだんは食べられない食材も食べることができました。友だちと楽しそうに食べていて嬉しかったです。ごちそうさまでした。

○子どもたちと一緒に大人気で食事をし、楽しそうな雰囲気心が和みました。日曜日に子どもたちと出かける場所、友だちに会える場所として当日までの楽しみもあり、良かったです。